

# *IF PC-Software*

## 取扱説明書

Rev. 1.10

SUS Corp.

## ■■ IF PC-Software 使用許諾条項 ■■

この度は、**IF PCソフト**をご利用いただき、誠にありがとうございます。

SUS (株) (以下「甲」という) が作成したソフトウェア・プログラム **IF PCソフト** のご使用にあたり、以下の契約に御同意戴きます。本契約に御同意戴けない場合は、**IF PC ソフト** をお客様のパソコンから直ちに削除して戴きます。

1. 本契約はお客様が **IF PCソフト** の使用を始めたときから発効します。
2. **IF PCソフト** に関する著作権は、甲が保有します。
3. お客様は甲製 **IF** を用い、お客様自身に限り、自己の業務上の目的にのみ **IF PCソフト** を使用することができます。
4. 甲の書面による事前の同意を得なければ、**IF PC ソフト** および付属文書の複製、改変、他への引用はできません。
5. お客様が **IF PCソフト** を使用された結果の影響については、甲は免責とさせていただきます。  
(**IF PCソフト** 免責事項 参照) **IF PCソフト** の使用によりお客様にいかなる損害が発生したとしても、甲に対して賠償を求めることはできません。
6. お客様が本条項に違反された場合や本契約を継続しがたい重大な事由がある時は、甲は直ちに使用許諾を解除できるものとします。
7. 甲は **IF PCソフト** に関するすべての仕様について、事前の通知なしに変更できるものとします。また **IF PCソフト** に関するいかなる保証も行わないものとします。
- 8.

## ■■ IF PCソフト 免責事項 ■■

●**IF PCソフト** をご使用されたことによって、お客様のパソコン本体および周辺機器やデータなどに何らかのトラブルや損害が生じたとしても、当社では一切責任をおいかねます。このことをご理解いただいたうえで、**IF PCソフト** をご利用下さい。

# 目次

○はじめに	P. 4
○ご使用の際の注意事項	P. 4
○ <b>IF PC ソフト</b> の概要	P. 5
○動作環境	P. 6
○インストール方法	P. 7～10
○アンインストール方法	P.11～12
○起動方法	P.13
○通信ケーブル接続方法	P.13
○ <b>IF PC ソフト</b> 取扱説明書について	P.13
○通信ポートの確認方法	P.14
○ <b>IF PC ソフト</b> 画面構成	P.15
○1. メニュー	P.16～18
○2. モード選択	P.19
○3. 移動モード	P.19
○4. データ編集モード	P.20～23
(1) パラメータ	P.20～22
・動作設定パラメータ	P.20
・センサパラメータ	P.21
・原点復帰パラメータ	P.22
(2) アイコンボタン	P.23
5. ステータス	P.24～25
○通信エラー	P.25
○ <b>IF PC ソフト</b> に関するお問い合わせ先	P.25

## はじめに

*IF* および *IF PC-Software*(以下 *IF PCソフト*)をご利用いただき、誠にありがとうございます。  
ご利用の際には、取扱説明書をよくお読みになり、十分に内容をご理解いただいたうえ正しくご使用  
下さいますようお願い申し上げます。

特に注意事項はしっかりとお読みになり、注意事項を守ってご使用下さいますようお願い申し上げま  
す。

### ■■ *IF PCソフト* ご使用の際の注意事項 ■■

- *IF* コントローラに通信ケーブルを接続および取り外しする際は、必ず *IF* コントローラの電源を  
OFF にしてください。
- *IF* コントローラとお客様のパソコンでデータ通信を行う際は、当社指定の通信ケーブル  
(PC232-8-CAB) をご使用下さい。
- *IF* コントローラとお使いのパソコンがデータ通信を行っている際は、*IF* コントローラの電源を  
OFF にしないでください。またデータ通信中に通信ケーブルがはずれたりしないよう、通信ケ  
ーブルはしっかりと接続してください。
- USB メモリをデータの保存先としてご使用の場合、**ソフト起動中の取り外しはしないで下さい。**

## IF PCソフト 概要

---

IF PCソフトのサポートする機能を簡単に説明します。

### ◆データの編集（編集モード）

IF データ（パラメーター）の編集が可能です。データは、数値を直接入力したり、コントローラから読み込んで編集を行ったりすることができます。編集したデータは、ファイルとして保存したり、印刷したりすることができます。

### ◆モニター機能（編集モード）

I/O の状態を表示します。（データ編集モードでのみ可）

### ◆モード切り替え

IFコントローラの動作モードの切り替えが可能です。

### ◆IF移動（移動モード）

IFを、位置を指定して1箇所ずつ、または連続で移動させることができます。

---

## IF-PC ソフト 動作環境

---

IF PC ソフト を動作させるためには、以下の環境が必要です。

### ◆対応するパソコン機種

本ソフトが動作する事を確認した機種は以下の通りです。

Windows 2000

Windows XP (32Bit 版)

Windows Vista (32Bit 版)

Windows 7 (32Bit 版)

Windows 8 (32Bit 版)

が動作する機種 (IBM PC、および PC/AT 互換機(DOS/V))

※ 上記 OS であっても、機種によっては正常に動作しない場合があります。

※ 64Bit 版 OS では動作しない事がありますので、ご注意下さい。

### ◆CPU&メモリ

ペンティアム 100MHz および同等の互換品以上を推奨

拡張メモリ 128MB 以上を推奨

### ◆ハードディスク空き容量

空き容量 10MB 以上

### ◆ディスプレイ

解像度 1024×768 以上

カラー256 色以上

### ◆シリアルポート(RS-232C)



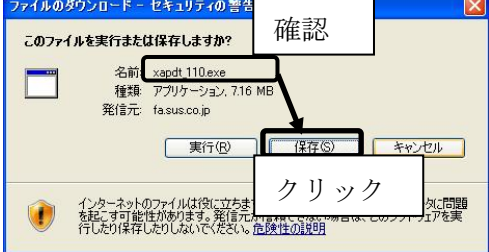
RS-232C シリアルポート COM 1～16 までのいずれかが使用可能であること

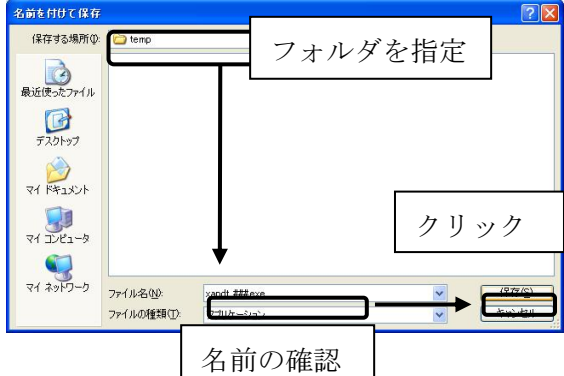
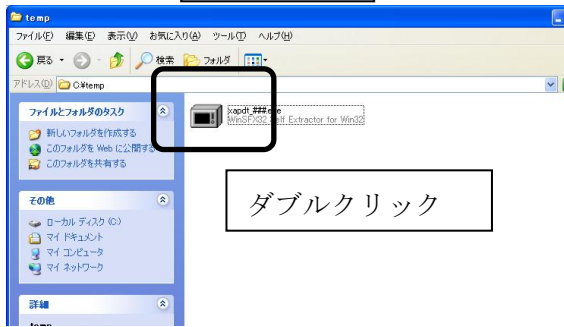
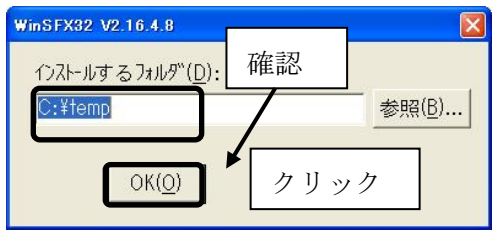
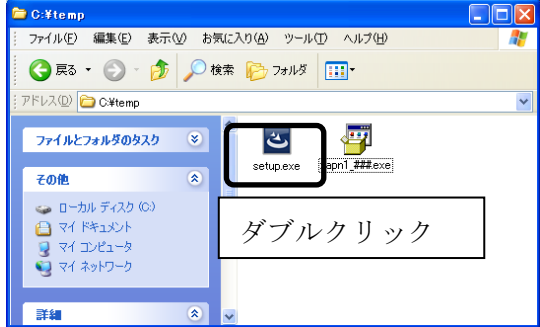
※ RS-232C シリアルポートがなくても USB ポートがある場合は

USB-RS232C (コンバータ) を使用し、通信を行うことができます。

# IF PCソフトのインストール方法

IF PCソフトは、パソコンのハードディスクにインストールして使用します。ここでは、IF PCソフトのインストール方法を説明します。

1	<p>SUS(株)ホームページ(<a href="http://www.sus.co.jp">http://www.sus.co.jp</a>)で、<b>IF パソコンソフト</b>の使用許諾契約書を読み、御同意戴けたらダウンロード用のホームページへ進みます。</p>	
2	<p>次に <b>IF パソコンソフト</b>のセットアッププログラムをお客様のパソコンにダウンロード（保存）して頂きます。ダウンロード用のファイルは2種類用意されています。ファイル名は、  <b>ifp1_###.exe</b>（自己解凍ファイル）  <b>ifp1_###.lzh</b>（Lha による圧縮ファイル）          の、2つです。          内容はどちらのファイルでも同じですが、自己解凍ファイル(ifp1_###.exe)の方が、解凍が簡単ですので、自己解凍ファイルをダウンロードすることを推奨します。          ここでは、          自己解凍ファイル(ifp1_###.exe)をダウンロードする方法を説明します。          ※ ###には、バージョンの数値が入ります。</p>	
3	<p>ダウンロードする自己解凍ファイル”<b>ifp1_###.exe</b>” の文字をクリックし、「このプログラムをディスクに保存する」を選択して[OK]ボタンをクリックします。</p>	


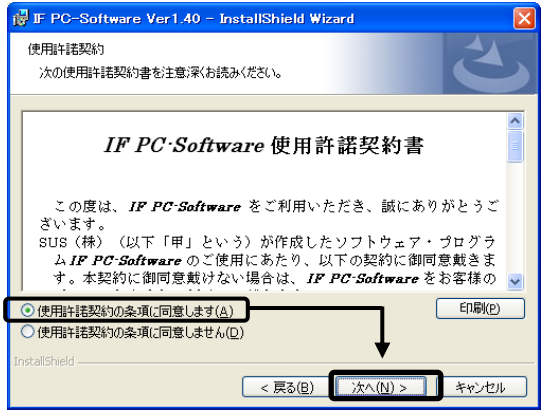

4	<p>ファイルをダウンロードするフォルダを適当に作成し、そのフォルダを指定します。</p> <p>ここでは、例として”temp”というフォルダを作成し、そこを保存する場所に指定し、<b>[保存]</b>ボタンをクリックして保存します。</p>	
5	<p>ホームページからダウンロード (保存) したファイルを、「マイコンピュータ」または「エクスプローラ」で表示させ、ダブルクリックして下さい。</p>	
6	<p>ダブルクリックすると、解凍先の指定が必要となりますので、適当なフォルダを指定してください。</p> <p>例として、ここでは先ほど保存した”temp”というフォルダに解凍します。</p>	
7	<p>「IFPCvXXX_setup.exe」をダブルクリックし、インストールを開始して下さい。</p>	




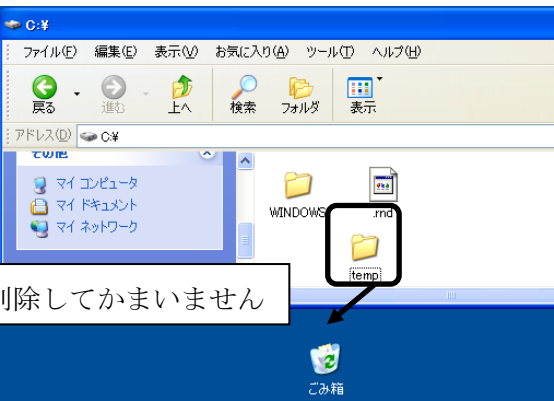
※インストール時に、システムファイルや共有ファイルを、他のアプリケーションが使用しているとインストールできない場合があります。従って、インストール前に他のアプリケーションを終了させるようにしてください。

※**IF PC ソフト**をインストールしようとしているパソコンに、旧バージョンの **IF PC ソフト** がインストールされている場合、新バージョンのインストールはできません。

旧バージョンの **IDX-P1** を削除したいときは、**「アンインストール方法」** P.11 を参照して下さい。



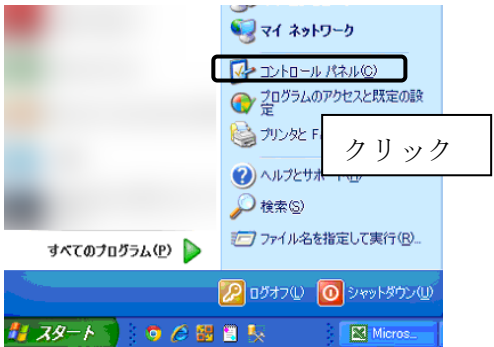
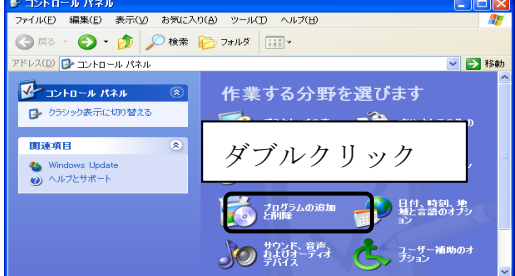
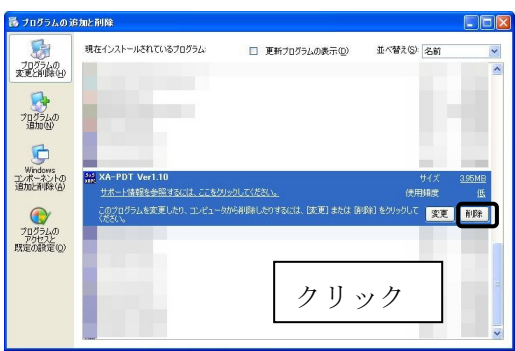
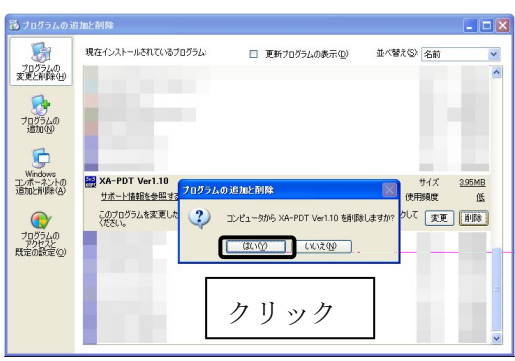
8	<p>セットアップ開始の画面が表示されたら、<b>[次へ(N)]</b>ボタンをクリックして下さい。</p>	 <p>クリック</p>
9	<p><b>IF PC ソフト</b> の使用許諾契約書の内容をお読みいただき、使用許諾契約書の内容に同意していただいた上で、<b>[次へ]</b>をクリックして下さい。</p> <p>※同意いただけない場合は、インストールを続行することができませんので、ご了承下さい。</p>	 <p>同意いただいた上で、<b>[次へ(N)]</b> ボタンをクリックして下さい。</p>
10	<p>ユーザ名および所属を入力し、<b>[次へ(N)]</b>ボタンをクリックして下さい。</p>	 <p>クリック</p>

11	<p>プログラムのインストール先として、標準では“Program Files”フォルダの中に、“IFPC-SoftwareV####”というフォルダを作り、その場所にインストールします。</p> <p>標準の設定で宜しければ、<b>[次へ(N)]</b>ボタンを押してください。</p> <p>フォルダを変更するときは、<b>[変更(C)]</b>ボタンを押して、任意のフォルダを指定してください。 ※ ####はバージョン番号</p>	
12	<p>インストール先や、入力した名前や所属（会社名）を確認し、内容に間違いが無ければ、<b>[インストール(I)]</b>ボタンを押して下さい。</p>	
13	<p>完了ボタンを押してください。</p>	
14	<p>インストール完了後は、ダウンロードに使ったフォルダ（例：“temp”）や、“IDX-P1_###.exe”や解凍後にできたファイル(“Setup.exe”など)は削除してもかまいません。</p>	

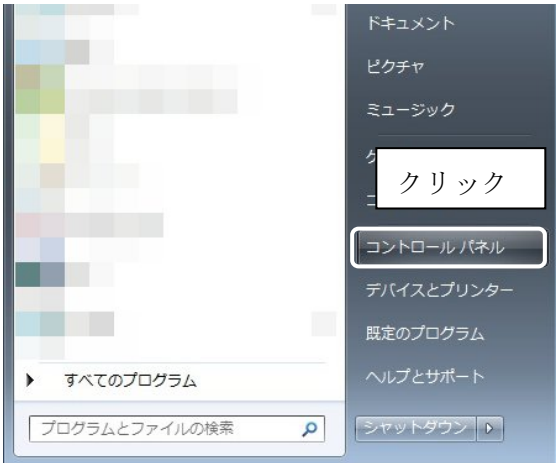

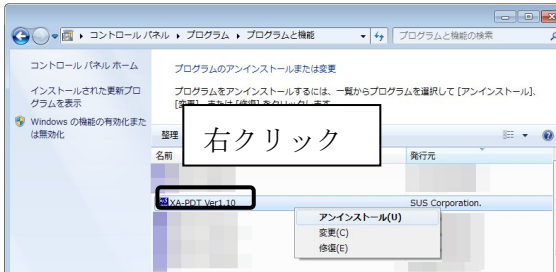
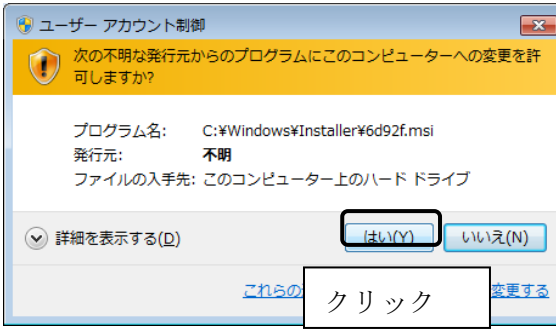
## アンインストール方法

パソコンのハードディスクのハードディスクからファイルなどを削除することをアンインストールといいます。ここでは、**IDX-P1**をパソコンのハードディスクからアンインストールする方法を説明します。

### Windows 2000、Windows XP の場合

1	[スタート]－[コントロールパネル]をクリックし、コントロールパネルを開いてください。	
2	[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックして下さい。	
3	[アプリケーションの追加と削除]で「 <b>IDX-P1 Ver ####</b> 」を選択し、[削除]ボタンをクリックして下さい。	
4	<b>IDX-P1</b> の削除前に、「コンピュータから IDX-P1 Ver#.##を削除しますか?」と確認画面が表示されます。削除する時は、[はい(Y)]をクリックして下さい。	

## Windows Vista , Windows 7 の場合

1	[スタート]－[コントロールパネル]をクリックし、コントロールパネルを開いてください。	
2	[プログラムのアンインストール]をクリックして下さい。	
3	[プログラムと機能]で「IDX-P1 Ver ####」を選択し、右クリックをして「アンインストール」を選択して下さい。	
4	[ユーザーアカウント制御]が表示されます。「はい」を選択して下さい。	

## IF PCソフト 起動方法

---

インストールが終了すると、スタートメニューに **IF PCソフト** のショートカットアイコンが作成されますので、それをクリックすることによってソフトを起動させることができます。

## 通信ケーブル接続方法

---

### ●パソコン側

通信ケーブル(PC232-8-CAB)の DSub9 ピンコネクタを、パソコンのシリアルポート (COM 1～3) につないでください。

シリアルポートが Dsub9 ピンでない場合は、変換コネクタを使用して接続してください。  
(変換コネクタは弊社では扱っておりません)

### ●IFコントローラ側

通信ケーブル(PC232-8-CAB)の MiniDin 側をコントローラに接続してください。接続するときは、コントローラ本体を手で押さえながら、そっとコネクタを差し込んで下さい。

## IF PCソフトの取扱説明書について

IF PCソフトの取扱説明書は、SUS (株) のホームページ (<http://www.sus.co.jp>) からダウンロードできます。取扱説明書のは PDF ファイルで保存されています。

## 通信ポートの設定方法

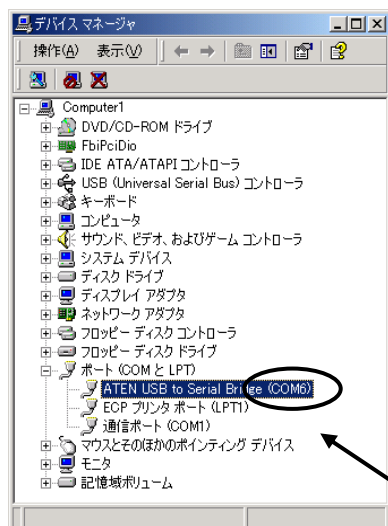
パソコンソフトと **IF** で正常に通信を行うためには、OSによって割り振られるCOM番号と、PCソフトの通信ポート番号が一致している必要があります。

まず Windows で通信ポートがCOM何番に割り振られているか確認します。

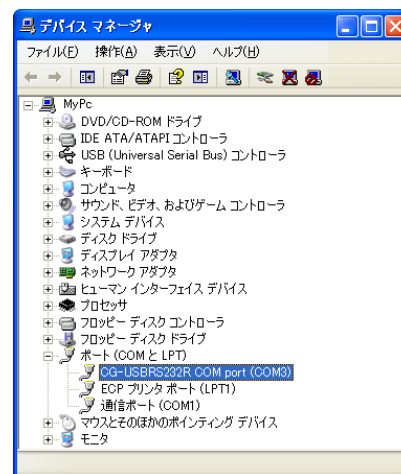
Windows の設定確認 [スタート]－[設定]－[コントロールパネル]－[システム]－[デバイスマネージャ]  
 デバイスマネージャによって、COM 番号を確認します。

(サンワサプライ製の場合、「ATEN USB to Serial Bridge (COM6)」)

(コレガ製の場合「CG USBRS232R COM Port (COM3)」)

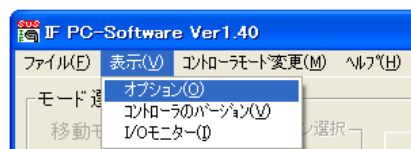


画面の例：COM6

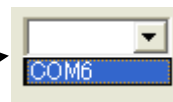
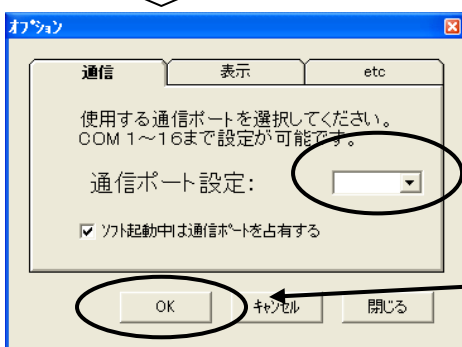


次に **IDX-P1** の通信ポートの設定を確認します。

**IDX-P1** の通信ポート設定 メニュー[表示]－[オプション]



IF PCソフトの通信ポートの番号を、  
 デバイスマネージャで確認したCOM番号と合わせます。  
 ここではサンワサプライ製のCOM6を例に説明します。



COM 番号を合わせてから[OK]ボタン  
 をクリックします。

通信ポートの設定は、一度行くとパソコンに設定が保存され、2回目以降は設定を行わなくても通信を行うことができます。ただし、USB－232C変換ケーブルの差し込む位置を変更すると、シリアルポート番号が変更されます。差し込むUSBコネクタの位置を変更した場合は、都度パソコンソフトのシリアルポート番号の設定を確認または変更して下さい。

## IF PC ソフト画面構成

IF PCソフトを起動させると、通常以下のような画面が表示されます。ここでは、IF PCソフトの画面の説明を5つに分けて行います。それぞれの詳細については、以下の項目番号の説明を参照してください。

The screenshot shows the IF PC-Software Ver1.20 window. It features a menu bar with 'ファイル(F)', '表示(V)', 'コントローラ変更(M)', and 'バージョン情報(A)'. The main area is divided into several sections: 'モード選択' (Mode Selection) with '移動モード' (Move Mode) and '編集モード' (Edit Mode) buttons; '移動モード' (Move Mode) with '移動ポジション選択' (Move Position Selection) options (位置1, 位置2, くり返し) and '移動' (Move), '停止' (Stop), '原点復帰' (Return to Origin) buttons; '編集モード' (Edit Mode) with icons for file operations and controller settings; 'ステータス' (Status) with 'ファイル名' (File Name), '新規作成' (New), 'ALARM' indicator, 'No.' field, 'No Error' text, 'リセット' (Reset) button, and 'RS-232C' status; and '動作設定' (Operation Settings) with a table for speed, acceleration, deceleration, stop time, and position for two positions.

**①メニューバー**  
各コマンドを実行するメニューを表示します。(P.16 参照)

**②モード選択**  
移動モードと編集モードの切り替えを行います。(P.19 参照)

**③移動モード**  
IFを移動させることができます。(P.19 参照)

**④編集モード**  
IFデータ(速度・加速・減速・停止時間・位置)の編集を行います。(P.20 参照)

**⑤ステータス**  
エラー発生時にエラー内容を表示します。またRS-232Cシリアルポートの状態を知らせます。(P.24 参照)

# 1. メニュー

---

メニューのそれぞれの機能を簡単に説明します。

## [ファイル]

### ● 全消去&新規作成

表示しているパラメータ（動作設定、センサ、原点復帰）をクリアします。またステータスの「ファイル名」も“新規作成”という表示に変わります。

### ● 開く

ファイルに保存したデータ（パラメーター）を開きます。ファイル名は、例：(XXXXX.ifd)のように拡張子は、.ifd です。

### ● コントローラから読み込み

コントローラに書き込まれているデータを読み込み、表示します。

※ コントローラからデータを読み込む際には、**IF**コントローラと通信します。**IF**コントローラに通信ケーブルを接続してから、実行してください。

### ● 上書き保存

一度、名前を付けて保存し、次も同じ名前で保存したい場合、データをファイルに上書き保存します。もし、ファイル名がまだついていない場合は、ファイル名を聞いてきますので、名前を付けて保存してください。

また、違うファイル名で保存したい場合は、メニューの[名前を付けて保存]をクリックして下さい。

※ ステータスの枠内で表示しているファイル名が、「新規作成」または「コントローラ内データ」の場合、ファイル名は付いていませんので、ファイル名を付けて保存してください。

### ● 名前を付けて保存

編集したデータにファイル名を付けて保存します。保存後、ステータスのファイル名に、ファイルに付けた名前が表示されます。

### ● コントローラへ書き込み

編集したデータを **IF**コントローラへ書き込みます。

※ コントローラへデータを書き込む際には、**IF**コントローラと通信します。**IF**コントローラに通信ケーブルを接続してから、実行してください。



## ● データ照合

### ① コントローラ内データと照合

編集モードで表示しているデータと、コントローラ内に書き込まれているデータの照合を行い、違う箇所があればその箇所を報告します。

### ② ファイルデータと照合

編集モードで表示しているデータと、ファイルに保存されているデータとの照合を行い、違う箇所があればその箇所を報告します。

※ [コントローラ内データと照合]を行う際には、**IF**コントローラと通信します。**IF**コントローラに通信ケーブルを接続してから、実行してください。

## ● プリンター設定

プリンターの設定を行います。お使いになるプリンターを設定してください。

## ● 印刷

編集モードの画面に表示されたデータ、または任意の **IF**データファイルのどちらかを印刷します。任意の **IF**データファイルを印刷する場合は、ファイルを選択してください。

※ **IF**コントローラ内の動作設定を印刷したい場合は一度データをコントローラから読み込んでから、印刷してください。

## ● 終了

**IFPCソフト**を終了します。各種パラメータのデータに変更があれば、保存するか聞いてきますので、保存したい場合はそのまま名前を付けて保存してください。保存しない場合は、「いいえ」をクリックして、終了してください。

## [表示]

## ● オプション

### 通信

使用する通信ポートを選択します。1～16 までのパソコンに装備された通信ポートを表示しますので、使用したい番号を選択してください。設定が正しくない場合、コントローラと通信を行った際に **IFPCソフト**が強制終了されることも考えられます。通信がうまくできないときは、通信ポートの状態を確認し、通信ポートの設定を行ってから再度通信してください。

### コントローラのバージョン

コントローラからバージョン情報を読み込み、表示します。

### I/O モニター

コントローラと通信を行い、現在の入出力の状態を表示します。

また、出力をダブルクリックすることで ON・OFF の切り替えができます。

## 【コントローラモード変更】

コントローラの動作モードには、「通信モード」と「外部起動モード」があります。  
コントローラモード変更では、この二つのモードを切り替えます。

### ● 通信モード

クリックするとコントローラの動作モードを「通信モード」に切り替えます。

「通信モード」では、**IF**コントローラとの通信が可能です。また「通信モード」では、外部信号によって **IF**を動かすことはできません。

### ● 外部起動モード

クリックするとコントローラの動作モードを「外部起動モード」に切り替えます。

「外部起動モード」では、外部信号によって **IF**を動かすことが可能となります。

※「外部起動モード」で通信を行うと、動作モードが「通信モード」に自動で切り替わります。

## 2. モード選択

---

IF PCソフトの動作モードには、「移動モード」と「編集モード」の2つのモードがあります。モード選択では、[モード切り替え]ボタンを押すたび、「移動モード」と「編集モード」の切り替えを行います。

移動モード時は、編集モード枠内がグレイになり操作が無効となります。また編集モード時には、移動モード枠内がグレイになり操作が無効となります。

それぞれのモードについての説明は、**3. 移動モード**および**4. 編集モード**を参照してください。

## 3. 移動モード

---

移動モードでは、実際に **IF** を原点、位置 1、位置 2 へ移動させることができます。

### ● 原点復帰

[原点復帰]ボタンを押すと、**IF** は原点復帰を行い、移動完了位置の表示には「原点」と表示します。

### ● 移動

位置 1 または位置 2 への移動は、ポジションを選択してから[移動]ボタンをクリックして下さい。

※電源投入後、各ポジションへの初回移動時には、必ず原点復帰を行ってから移動します。

### ● 移動位置選択

移動させたい位置を選択します。「くり返し」を選択すると、位置 1 ・ 位置 2 への連続移動を行います。

## 4. 編集モード

編集モードでは、データ（パラメーター）の編集を行います。

また編集したデータをコントローラに転送したり、ファイルに保存したりすることが可能です。

具体的には、データとして以下のようなパラメータがあります。

### （１）パラメーター

パラメータには以下に示すように「動作設定」、「センサパラメータ」、「原点復帰パラメータ」の３つがあります。それぞれのパラメーターについて説明します。

#### ■■ 動作設定 ■■

IF の動作に関するパラメータで、速度や加速の設定などを行います。

動作設定は、下表のように速度、加速、減速、停止時間、位置（パルス）を設定します。

速度	加速	減速	停止時間 (msec)	位置 (パルス)
2 0	1	1	0	1 0 0

### 各設定の詳細について

項目	設定内容	設定範囲	設定値メモ
速度	各位置 No へ移動するときの速度を設定します。 数値が大きいほど高速になります。	1 ～ 30	
加速	各位置 No へ移動するときの加速を設定します。 数値が小さいほど高加速になります	1 ～ 3 1：高加速 2：中加速 3：低加速	
減速	各位置 No へ移動するときの速度を設定します。 数値が小さいほど高減速になります。	1 ～ 3 1：高減速 2：中減速 3：低減速	
停止時間 (msec)	動作後の停止時間を設定します。1 回の振動動作につき、設定時間だけ停止する機能です。ワークの送り量の調整にも使用できます。	0 ～ 2 5 5	
位置 (パルス)	移動位置を設定します。原点からの絶対値で設定してください。	0 ～ 4 0 0	

## ■■ センサパラメータ ■■

センサパラメータは、レールワーク検出・先端ワーク検出により、動作を制御するパラメータです。センサパラメータは初期画面では、表示されません。センサパラメータを変更するためには、メニューバーの[表示]－[オプション]をクリックし、オプション設定画面を表示させます。次に[表示]を選択し、「センサパラメータ・原点復帰パラメータを表示する」にチェックを付け、[OK]ボタンをクリックします。

名 称	内 容	設定範囲	初期値	設定メモ
セパレートタイム (自動機専用)	ワークを切り出す時間を設定します。切り出しシリンダが設定時間分、動作します。 (単位 1=5msec)	1 ～ 255	100	
供給動作カウンタ	ワークを切り出した後ワークを整列させる振動数を設定します。	1 ～ 255	8	
供給スタート ディレー	先端ワーク検出による停止後ワークなし(センサOFF)になってから再開するまでの遅延時間を設定し、明日	1 ～ 255	100	
中間ワーク確認 カウンタ	レール上のワーク有りを検出する回数(振動数)を設定します。レール満載による振動停止タイミングに使用します。	1 ～ 255	15	
ワーク不足 カウンタ	レール上のワークなしを検出する回数(振動数)を設定します。ワーク不足出力タイミングに使用します。	1 ～ 255	200	
先端ワークOFF タイム	先端ワーク検出による停止後、ワークなし(センサOFF)を検出する時間を設定します。 (単位 1=5msec)	1 ～ 255	20	

## ■■ 原点復帰パラメーター ■■

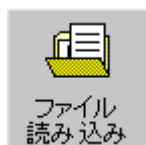
原点復帰パラメーターは、原点復帰に関係したパラメーターです。基本的に各数値は初期値から変更しないで下さい。

原点復帰パラメーターは初期画面では、表示されません。原点復帰パラメーターを変更するためには、メニューバーの[表示]－[オプション]をクリックし、オプション設定画面を表示させます。次に[表示]を選択し、「センサパラメータ・原点復帰パラメータを表示する」にチェックを付け、さらに「原点復帰パラメータを変更する」にもチェックを付け、[OK]ボタンをクリックします。

名 称	内 容	設定範囲	初期値	設定メモ
原点復帰 速度	原点復帰にて反転する速度を設定します。	1 ～16	8	
原点復帰 パルス	原点復帰にて反転するパルス数を設定します。	1 ～600	300	
オフセット 速度	原点復帰パルス動作後、正転する速度を設定します。	1 ～16	6	
オフセット パルス	原点復帰パルス動作後、正転するパルス数を設定します。	1～100	2	

**注意：**設定値を変更しないで下さい。もし変更されると本機の性能が発揮できなくなります。

## (2) アイコンボタン



### ● ファイル読み込み

ファイルに保存されているデータを読み込み、画面に表示します。ファイルを読み込み後、ステータスのファイル名には、読み込んだファイル名が表示されます。



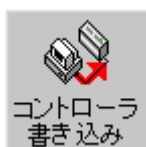
### ● ファイル上書き保存

一度ファイル名を付けて保存したデータは、同じ名前で上書き保存することができます。ただし、名前が付いていない場合は、ファイル名を聞いてきますので、ファイル名を付けて保存してください。



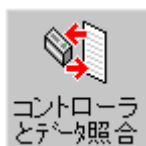
### ● コントローラから読み込み

コントローラ内のデータを読み込み、画面に表示します。データ表示後、ステータスのファイル名には、「コントローラ内データ」と表示されます。



### ● コントローラへ書き込み

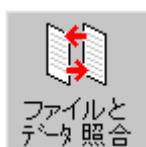
表示しているデータをコントローラへ書き込みます。データ書き込み後に、コントローラをリセットするか問い合わせのメッセージが表示されます。そこで「はい」を選択するとコントローラはリセットされ、次回 **IF** を動かすときは、原点復帰を行います。



### ● コントローラとデータ照合

表示しているデータとコントローラ内のデータとの照合を行い、データに違いがあったときは、違った箇所を表示します。

※ [コントローラ内データと照合]を行う際には、**IF**コントローラと通信します。**IF**コントローラに通信ケーブルを接続してから、実行してください。



### ● ファイルと照合

画面に表示しているデータとファイルに保存されているデータとの照合を行います。データに違った箇所があった場合、違った箇所を表示します。

※ [コントローラ内データと照合]を行う際には、**IF**コントローラと通信します。**IF**コントローラに通信ケーブルを接続してから、実行してください。

## 5. ステータス

ステータスでは、エラーの有無や通信ポートの状況、読み込んだり保存したファイル名などを表示します。それぞれの詳細については、以下に示します。

### ● ファイル名

#### 1) ファイル読み込み時

読み込んだファイル名を表示します。

#### 2) ファイル保存時

保存時に付けた名前を表示します。

#### 3) コントローラからデータ読み込み時

「コントローラ内データ」の表示になります。

### ● アラーム

アラームの有無をランプの色で表示します。エラーがない時は緑色、エラー発生時には赤色になります。

またエラー発生時には、エラーNo.およびその内容を表示します。

#### アラーム No. とその内容

アラーム No.	エ ラ ー 内 容
0 1	通信コマンドエラー
0 2	通信データの数値が不適當
0 3	通信データ長エラー
0 4	EEPROM 読みとりエラー
0 5	EEPROM 書き込みエラー
0 6	速度指令データが不適當
0 7	加速度指令データが不適當
0 8	移動指令値が許容値をオーバー
0 9	停止位置でリミットセンサが作動（脱調検知）
0 A	送出パルス数の不一致

[リセット]ボタンは、エラーをリセットするためのボタンですが、エラーによってはリセットできないこともあります。その際には、コントローラの電源を入れ直してください。



## ● RS-232C

通信ポートの状態をランプの色で表示します。

- ・ 白： RS-232C 通信ポートが閉じられているとき。
- ・ 緑： RS-232C の通信ポートが開かれているとき。

## ● リセット

アラームリセットをします。[リセット]ボタンをクリックしても、アラームがリセットされないときや反応がないときは、一度 **IF** コントローラの電源を切り、再投入してください。

# 通信エラー

---

**IF PC ソフト**で通信エラーが発生した場合、以下の確認をしてください。

- ① 電源が入っていますか。
- ② 通信ケーブルが接続されていますか。
- ③ 通信ポートの設定は正しいですか。
- ④ U S B 変換ケーブルを使用の場合、ドライバインストールされていますか。
- ⑤ 自動機の場合、外部入力 of 運転入力<RUN>信号がON していませんか。  
外部入力 of 運転入力<RUN>信号がON していると、通信ができません。
- ⑥ 手動機の場合、自動起動用短絡プラグは外してありますか。  
手動機は電源を入ると自動起動するように、プラグを短絡してあります。  
(自動機 of 運転入力<RUN>信号に当たります)  
運転入力<RUN>信号が入力されている状態ですと、通信ができませんので、  
短絡プラグを外して頂く必要があります。  
短絡プラグの取り外し方法は「i-Feed 取扱説明書 9-3 ページ」を参照ください。

## IF PC ソフトに関するお問い合わせ先

---

**IF PC ソフト**の不具合や不明点に関するお問い合わせは、電子メールにて以下のアドレス宛にお願い致します。

**[sus-sales@sus.co.jp](mailto:sus-sales@sus.co.jp)**